

令和5年度向日市環境推進会議 議事録(要約)

開催日時 令和5年11月6日(月) 10時30分～12時00分

開催場所 向日市役所別館 第10会議室

出席者 (10名)

三輪 信哉	大阪学院大学国際学部 教授	委員長
岩渕 善美	平安女学院大学国際観光学部 教授	副委員長
松本 文子	イオンモール株式会社 イオンモール京都桂川 オペレーション担当	
玉井 啓子	市民公募	
松本 千穂	市民公募	
谷本 於規光	市民団体(土のめぐみ代表)	
木村 作彦	向日市区長会会長	
川手 光春	京都府地球温暖化防止活動推進センター 事務局長	
飯田 貴久	京都府乙訓保健所 技術次長兼環境衛生課長	
林 千香	向日市環境産業部長	

欠席者 (2名)

宇津崎 則子	向日市商工会 女性部長
村上 裕子	向日市立第3向陽小学校校長

事務局 (3名)

木村 正義	向日市環境産業部主席課長(兼)ゼロカーボン推進課長
明是 皓介	向日市環境産業部ゼロカーボン推進課係長
山本 公一	向日市環境産業部ゼロカーボン推進課主任

次 第

- 1 開会
- 2 委員長及び副委員長の選任
- 3 議 事
 - (1) 第3次向日市環境基本計画について
 - (2) 第3次向日市環境基本計画の進捗状況について
 - (3) 向日市重点対策加速化事業計画について
- 4 閉 会

【配付資料】

第3次向日市環境基本計画

第3次向日市環境基本計画（概要版）

資料1 第3次向日市環境基本計画に係る進捗状況について（数値）

資料2 第3次向日市環境基本計画取組一覧表

資料3 第3次向日市環境基本計画に係る進捗状況について（取組）

資料4 向日市重点対策加速化事業計画

（策定自治体一覧、令和5年度事業、ゼロカーボン推進補助金チラシ）

1 開会

安田市長あいさつ

(省略)

事務局

(委員紹介 省略)

2 委員長及び副委員長の選任

事務局

向日市環境推進会議設置要綱第5条に基づき、本策定委員会の委員長、副委員長の選出についてお願いしたい。

委員

環境に関する知識や経験が豊富な学識経験者で、本計画策定時に委員長、副委員長をされていた三輪先生を委員長に、岩渕先生を副委員長に推薦したい。

事務局

委員長に三輪先生、副委員長に岩渕先生という声があったが、拍手で承認をお願いしたい。
意義なく賛同いただいた。

委員長に三輪先生、副委員長に岩渕先生が決定したので、代表して三輪先生から新任の挨拶をお願いします。

委員長あいさつ

(省略)

事務局

質疑応答の際、発言される方は、お手元のマイクをお願いしたい。
それでは委員長、お願いします。

委員長

それではここから議事進行する。
議事に先駆けて、事務局より資料の確認をお願いします。

事務局

(資料確認)

委員長

資料が手元にあるという事で進めさせていただく。
まずは、会議公開について、本会議は原則、公開で運営されることになっている。本日の議事事項については、向日市情報公開条例第6条各号のいずれかに該当して非公開とすべき情報は含まれていないので、本日の会議は記録の上、会議録を作成し、ホームページで公開するとともに傍聴を許可するので、よろしくをお願いしたい。
それでは、傍聴はいかがか。

事務局

本日の傍聴希望者は5名いる。

委員長

承知した。10名が定員ということなので皆様、傍聴して頂くこととする。

事務局

それでは傍聴者の方に入室していただく。

2 議事

(1) 第3次向日市環境基本計画について

委員長

議事に入らせていただく。お手元に議事次第があると思うが、それに従って順次進めていく。まず、議事1の第3次向日市環境基本計画について事務局から説明をお願いします。

事務局

(資料説明 省略)

委員長

事務局からの説明について、質問や意見はいかがか。

委員

概要版の計画の推進に示されている向日市環境市民ネットワークについて教えてほしい。

事務局

向日市環境市民ネットワーク会議には、5つの団体と個人会員1名が参加されており、普段はそれぞれで環境に関する活動が行われている。今回、環境推進会議委員の一人である谷本委員は、ネットワーク会議の構成団体である「土のめぐみ」の代表をされている。

環境推進会議の中で出た意見については、ネットワーク会議の方にもお伝えをし、活動の連携や提案などを行っていきたいと考えている。

委員

10数年前から環境問題に取り組んでおり、ネットワーク会議の活動もさることながら、私自身が代表を務めている「土のめぐみ」という市民団体においてグリーンカーテンの普及や小学校での環境教育のアドバイザー、生ごみの堆肥化運動などを行っている。

委員長

ほかに質問がなければ、次の議事に移りたいと思う。

(2) 第3次向日市環境基本計画の進捗状況について

委員長

議事2、第3次向日市環境基本計画の進捗状況について事務局から説明をお願いします。

事務局

(資料説明 省略)

第3次向日市環境基本計画40ページに記載している次世代自動車普及台数の現状値(2021年)を修正したい。

現状：4,983台(京都府統計データに未掲載であったため環境基本計画策定時のアンケート調査を元に算出)

修正案：3,247台(京都府統計データに市町村別自動車保有台数のデータがあることがわかったため)

※目標値の12,600台については、変更はしない。

委員長

質問や意見はいかがか。

委員

2030年度や2031年度の目標値に対して、年度毎に達成率が分かる指標等を設けてはどうか。

事務局

各年度の実績については、グラフ化して示したいと考えている。

指標については検討していきたい。また、指標に関する意見があれば伺いたい。

委員長

2030年度の目標は示されているが、それまでの進捗について何か比較対象を設けてほしい。それに対し評価できればいいのではないか。

委員

温室効果ガスの排出量と一般廃棄物の焼却に伴う温室効果ガスの排出量、これらはどのように算出するのか。

事務局

温室効果ガス排出量は、電気やガス、ガソリンなどの消費量に対し、それぞれ係数を掛けて排出量を算出する。ごみについては、燃やす部分だけでなく、収集運搬に係る車のガソリンの使用量も加算されている。

委員

取組の評価をするに当たり数値で表せられないものについては、事務局の主観で評価しているのか。また、評価の指標について根拠はあるのか。

事務局

現在示している評価は事務局の案である。

今後事務局が示した評価については、この推進会議の中で、評価をお願いしたい。評価に当た

っては、前年と比べることや、2030年の目標に対して、現在どの位置にいるかなど、評価しやすい資料を作っていきたいと思っているので、数値の表し方など意見があればお願いしたい。

委員

例えば公園の緑地面積1人当たり1.3㎡とあるが、緑地の定義は何か。木が生えている緑なのか、ただ公園の面積なのか。そこもはっきりしたほうがいいのではないかと考える。あとは環境に取り組む企業や団体との連携についても、具体的にどのような活動をしたのか例を挙げてほしい。

事務局

企業とどのような連携をしたかなど、市がどのような取組を行ったかについては、資料3の様式で取組の進捗状況を示していきたいと考えている。

緑地面積の定義については、施設管理者に確認する必要があるが、公園の面積である。

委員

環境基本計画は、基本目標、施策の方針、基本施策という体系になっていて、それに対して市の取組が記載されているが、記載されている取組はあまり現場での具体的な内容ではないと感じる。あえて計画には細かく書いていないのかと思うが、評価するには資料3の取組の内容をもう少し補足するか詳細に書くかして、工夫したことや効果などを記載して、今年、市はこういう取組内容をこういう目的で立てましたとか、今年はこちらが失敗したので来年はこういったことに力を入れるなど、説明があればよりわかりやすいのではないかと感じる。そのように取組をしっかりと評価してPDCAサイクルが動いていくと思う。

例えば、雨水貯留タンク補助件数目標17件に対して実績は7件であり、評価は「△」となっているが、実際数が少ないというのであれば、何かブームが去ったなど理由があると思うが、その辺りの説明があるとよりわかりやすいし、評価もしやすいと感じた。

事務局

具体的な取組については、例えば、基本目標1であれば、本編43ページのところに、基本施策を推進するための市の取組みというのを列挙しており、基本目標1から4までで、全部で54個ある。

取組については資料3に取組内容というのがあり、ここに、その時の反省や今後の課題などを、補足するというのはいかがでしょうか。

委員

取組の内容については、反省事項や来年度の計画を入れるなど市の苦勞が反映されるような内容であればわかりやすいと感じた。

事務局

資料3の一番右の欄に事業の評価という項目があるが、各所管課が何をもってその評価としたかを詳しく書いていくということでしょうか。

委員

よろしい。
せっかくいろいろ細かな取組みを努力してやっているのもそれが伝わる内容にしてほしい。

副委員長

資料1の事務局評価について、今回、議論してもいいのか。

事務局

お願いしたい。

副委員長

評価の凡例によると、「◎」が計画以上に進んでいる、「○」が計画どおりに進んでいる、「△」が計画より遅れているということであると思うが、例えば、ごみの排出量の目標値が1万3,130トンであり、実績値が少し上回っている場合、計画以上なのかそれとも計画どおりなのか。

一方、大気汚染は100%を達成しており、これ以上はないということから、「◎」であると思うが、BODは「△」となっている。90%であることを考慮して「△」より「○」の方がいいと思うがどうか。

事務局

多くの数値目標を掲げている中、その数値が最終的に達成を目指しているものや毎年達成を目指しているものなど様々であり、わかりづらさや評価のしにくさにつながっているのではないかと考えており、工夫が必要と考えている。

ごみの排出量については、向日市一般廃棄物処理基本計画において2030年に排出量1万3,130トンにするという目標をだけでなく、来年、再来年の目標数値も定めている。

また排出量について大幅に進捗し、一般廃棄物処理基本計画の審議会において目標数値を改めるということがあれば、環境基本計画の目標数値も合わせて変えていくということになる。

副委員長

2030年向けの目標値であれば、計画どおりに進んでいるということがわかるような標記であればわかりやすいのではないか。

委員

評価に当たっては、何かと比べるというのが当然必要になってくると思うが、今の資料だと、基準年の数値がなく、評価のしようがないのではないか。

事務局

温室効果ガスについては、2030年の目標に対し、2013年を基準年としているが、それ以外の目標は、数値の累計値や、騒音など年度ごとの目標である。したがって基準年を設けているのは、温室効果ガスの排出量のみである。

委員

環境基本計画の策定時に目標値というのを設定しているということは、ある程度の現状を把握しているはずであり、その現状に比べて、この計画を実行したから、こういう数字になりましたと言う比較がないと、計画自体の実効性については図ることができないのではないかと。

委員長

環境基本計画には、現状値を掲載しており、それが委員のいう基準値になると思う。従ってその基準値も進捗状況の表の中に加えておくと、計画策定時より上がったのか下がったのか、また上がり具合はどのぐらいのスピードなのかということがわかり、より評価しやすくなるのではないかと。

委員長

まとめると、この場に出てきたこととしてはやはり、評価をする材料がちょっと不足しているという感じがある。評価に当たっての根拠について他市でも議論されていると思うので他市の事例を参考に工夫してほしい。

それから、例えば大気環境基準達成状況は、毎年100%を目標として出していく考えなのか。それとも一回でも100%になれば良いのか。

事務局

毎年100%を維持していくことを目標としている。

副委員長

実績値は速報値という形で出しているが、いつに確定になるのか。

事務局

おおむね確定値に近いものが、現在出している速報値である。この中で、温室効果ガスの排出量については、年明け後に国が確定値を出すことになっているため、その後本市の数値を確定させる。その他については精査中ではあるものの、おおむねこの値が確定値に等しいと捉えている。

委員長

次回の環境推進会議は年度明けの6月を予定しているとのことであるが、それまでに評価の仕方について整理しておいてほしい。

委員

先ほども述べたが、緑地について気になる。今年の夏、幼稚園と保育所のガイドブックを作るため、各施設に取材に行ったときに、今年の夏は、暑過ぎて子どもたちを一切お散歩に連れて行けなかったと聞いた。ただ、2施設は行ったらしいのだが向日市ではなく京都市の公園にいったそうだが、なぜ京都市なのかというと、京都市には緑があり、木陰があるから、危険がないということである。

したがって、この緑地面積というのを公園の面積と捉えてしまうのは乱暴な気がする。見直しはできるのか。

あと農地に関して、環境保全型農業推進面積が1.5から2ヘクタールを目標としているが、向日市の農地は宅地に転換されることが多い中、2ヘクタールという目標が可能なのか。向日市の面積の30%弱が農地である一方、農業従事者は1%しかいない。この環境保全型農業推進面積の目標に当たり、どこまで市は農業従事者の方に向けての取り組みをするのか。

放置竹林の伐採のボランティアを増やすことが本当に温暖化防止のためになるのか、それとも、農業従事する方をふやす方がいいのかをもう一度立ち止まって考えてほしい。

事務局

今ここに掲げている目標の項目や数値は、昨年に策定委員会で策定したものであるため、この項目及び数値に対し進捗を図っていく。

目標の評価の仕方については、本会議で意見のあった事項を、庁内推進会議において検討していきたい。その検討結果をこの推進会議に諮っていきたい。

委員長

先ほど委員の発言にあったような、もう少し具体的に、どういうことをやって、どういう点で苦労があって、どういうふうに変更していこうとしているのかが、わかるようにというところにも共通していることかと思う。また、今の委員の発言にあったような生の声というのが実際政策を打っていく上で非常に重要になってくるかと思うので、所管課と議論するのはもちろんのこと、次回の推進会議においては所管課にも参加してもらいたいと思う。いずれにしても、血の通ったものにしていくという意味では貴重な意見であると思う。ほかに質問がなければ次の議題に移る。

(3) 向日市重点対策加速化事業について

委員長

次に、議事3の向日市重点対策加速化事業について事務局から説明をお願いします。

事務局

(資料説明)

委員長

質問や意見はいかがか。

委員

昨日、ゼロカーボンに向けてという講習会を開催し、京都府地球温暖化防止センターに講演いただいた。

そのあと私の家に蓄電池を導入した話をした。私の家の周辺では太陽光発電設備は数件設置しているが、蓄電池を設置している家は1軒もない。そこで思い切って蓄電池を購入したが、蓄電池導入後、電力をほとんど買わなくなったことから、今後電力の平均化をするためには蓄電池は不可欠であると思っている。蓄電池の補助金を重点投資していただくとともに、補助金の条件となっている太陽光発電設備と蓄電池の同時導入ではなく、蓄電池単体でも補助してほしい。

事務局

補助金の交付に当たり、蓄電池と太陽光発電設備は同時設置が基本である。

ただし、ゼロカーボン推進補助金については、令和10年度まで交付を行う予定であり、例えば今年、ゼロカーボン推進補助金を使って太陽光を、令和10年度までに蓄電池をといる場合であれば交付はできる。

蓄電池単体については、京都府が実施している「みんなのうちで太陽光」事業で蓄電池の共同購入できる制度があり、市から案内をしていきたいと考えている。

委員

エネファームについて、国の補助金があると思うが、それとはまた別に設置費用の2分の1もしくは最大20万円ということなのか。

事務局

経済産業省が最大15万円の補助金を出しているがそれとの併用はできない。

委員

エネファームは、昔、高額で設置するのも大変だったが、国の方から補助があり、比較的手頃に設置できるようになったと聞いている。

今回このエネファームにも補助金が交付されたことについて非常に評価している。

なぜかという、エネファームを使うことにより発電だけでなく給湯の効率も上がり二重に効果があるということで非常に評価している。

委員長

市の補助事業以外にも府や国が実施しているものいろいろあるので、そういう情報をもっと行き渡る必要がある。その辺の工夫は非常に重要であると思ってほしい。

委員

京都府内でもこの重点対策加速化事業に採択されている自治体は少なく、向日市については評価をしている。補助金についてもどうやって使っていただくかといったことや、国の規定に則って実施しなければならないので苦労していると思う。

また、市民の方々にちゃんと知っていただいて使ってもらうことがとても重要と思っているが、告知も難しいだろうなというのはゼロカーボンに関わっている身として感じている。

この重点対策加速化事業を採択されるに当たり非常に苦労したと思うので、これを市民の方々に広めていって必要な方々にちゃんと補助金を交付していってもらおうというのが、今後私たちも含めてやっていかなければいけないことだと思っているので、ここにいる委員も含めて広めるような動きを加速化していくように頑張っていく必要があると思う。

委員長

事業評価と重点対策加速化事業については、リンクして、見えてくるような形になるのか。それとも重点対策加速化事業については、別に示していくのか。

事務局

重点対策加速化事業についても資料3の取組の進捗状況で、例えば申し込みが件数やそれに伴う評価を加えることにより、事業の内容が見えてくると考えている。

委員長

環境基本計画が2030年をゴールとしており、この重点加速化事業が令和10年、つまり2028年に終わるということで、この重点対策加速化事業が、肝になってくると思うので、また逐次報告いただければと思う。

全体を総括すると、向日市が非常に前向きな姿勢を示しているだけに、この会議も非常に重要であるので、実際に委員ご自身が日頃から取り組んでおられるようなことから、ここを変えて欲しいとか、こう表して欲しいとか、そういう意見を事務局に伝えていくということがよりよい環境基本計画の進捗になってくるかと思うのでまた引き続きお願いする。

これにて本日の議事をすべて終了する。

事務局

次回の環境推進会議について、令和4年度の報告書が、今年度末に完成するため、令和6年の5月か6月ごろに、開催したいと考えているが、いかがか。

各委員

異議なし

事務局

ご異議がないようなので、詳細な日程につきましては、改めてご連絡する。

委員長

そうしましたら時間となったため閉会とする。

どうもありがとうございました。